

3 【学長コラム】

地域連携、国際交流

学長 柳澤 保徳

4 教員養成GP 2年連続採択！「高大融合による理数科高校教員養成」

融合理数GP プロジェクト代表 松山 豊樹

6 ニイハオからツアイチエンまで—国際大学交流セミナーを終えて—

副学長(国際交流・地域連携担当) 淡野 明彦

8 【ラボ・レター】

日本語の多様性と普遍性の探求

国語教育講座・助教授 前田 広幸

立場は変わっても

数学教育講座・教授 吉田 明史

健やかな食生活を送っていますか？

生活科学教育講座・教授 大家 千恵子

学校における豊かな人間関係の構築を求めて

教育実践総合センター・助教授 池島 徳大

10 【ひと・あれ・これ】

「人」の「事」を思う仕事に就いて

ナカバヤシ株式会社・人事部 石田 智也

子どもと同じ目線で向き合って

十津川村立平谷小学校・教諭 山本 菜採

11 学生企画活動支援事業 第2回京終ビバ

京終ビバ代表 総合教育課程環境教育コース4回生 織田 恵

12 【大学の仲間たち】

オオチャバナセセリ

自然環境教育センター長 前田喜四雄

表紙紹介

手作り絵本と絵巻物展

表紙題字 名誉教授 池田桂鳳

学生たちが企画、運営をする「手作り絵本展」を開いて、今年で10周年になります。

「初等教科教育法(図画工作)」の授業では、84名の学生が掌にのる『正倉院ミニ絵本』を作りました。まずは「キャンバスメンバーズ」制度を利用し、奈良国立博物館で行われた正倉院展を全員で鑑賞することから始めました。「教員になったら、子どもたちに古文化財の素晴らしさを伝えよう」という熱意が小さな絵本一つ一つにこめられ、内容も充実したものに仕上がりました。

また、「幼児の造形表現」の授業では、29名の学生が幼稚園実習で活用できる3種類の絵本をそれぞれ作りました。まず1つは、幼児でも簡単に作ることができるソフトカバーの絵本。2つ目は、物語と絵を自分で創作したハードカバーの絵本。3つ目は、飛び出す仕掛けの大きな絵本。いずれも手作りならではの趣のある作品ばかりで、ページをめくるたびに作りの気持ちが伝わってくる素晴らしいものでした。

「基礎ゼミⅡ」の授業では、入学して半年経った1回生11名が奈良教育大学の特徴を描いた『キャンパスライフ』の絵本を作成しました。その他、地域の方々も賛助出品し、全部で250冊余りの手作り絵本を教育資料館に展示しました。

また、同館の壁面には、大学院生・学部学生が制作した自叙伝毛筆絵巻物と古典名品絵巻物の模写を展示。さらに、奈良教育大学の卒業生たちが中学校や小学校で指導した社会見学や修学旅行絵巻物など300点程を展示し、10周年に相応しい賑やかな催しになったと思います。

ならやま
2007年1月号

CONTENTS